

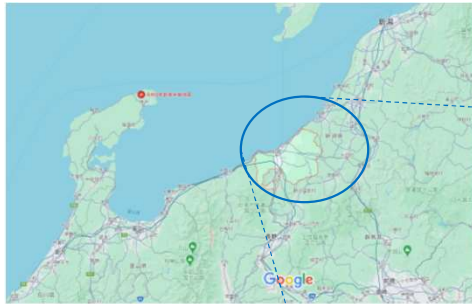
新潟県上越市における津波河川遡上による 氾濫被害および沿岸部の津波被害

調査日程 2024/1/10-11

流域災害研究センター
馬場康之・山上路生

調査対象地域（新潟県上越市）

調査日程 2024/1/10-11



調査行程

1/10
京都→上越
高田河川国道事務所訪問
関川河口周辺調査

1/11
大潟海岸周辺調査
(大潟漁港含む)
直江津海水浴場調査

調査メンバー：5名
(山上, 馬場, 金子, 呉, 齋藤)



地図データ ©2024 2 km

① 関川遡上津波氾濫調査(2024/1/10)



① 関川遡上津波氾濫調査(2024/1/10)



① 関川遡上津波氾濫調査(2024/1/10)



損壊した部分より海水が流入

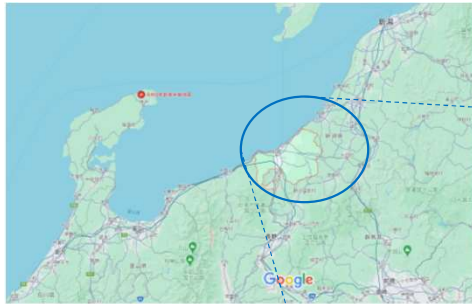
湊町 1 丁目地区では、1 件の住宅が床上浸水が確認。

(近隣住民の方からの聞き取り)

- ・ 氾濫水により駐車中の自動車が流されて、玄関に衝突。建物入口が破壊されるとともに、海水が流入。室内は最大78cm浸水した。この住民は、早期避難により無事。
- ・ 氾濫水は、この地区の街路を、くるぶし程度の水深で比較的大きな速度で流れた。
- ・ 大きな津波が少なくとも2回来た。
- ・ 地域住民の多くは、早期避難。日頃の訓練の成果

調査対象地域（新潟県上越市）

調査日程 2024/1/10-11



調査行程

1/10
京都→上越
高田河川国道事務所訪問
関川河口周辺調査

1/11
大潟海岸周辺調査
（大潟漁港含む）
直江津海水浴場調査

調査メンバー：5名
（山上，馬場，金子，呉，齋藤）



地図データ ©2024 2 km

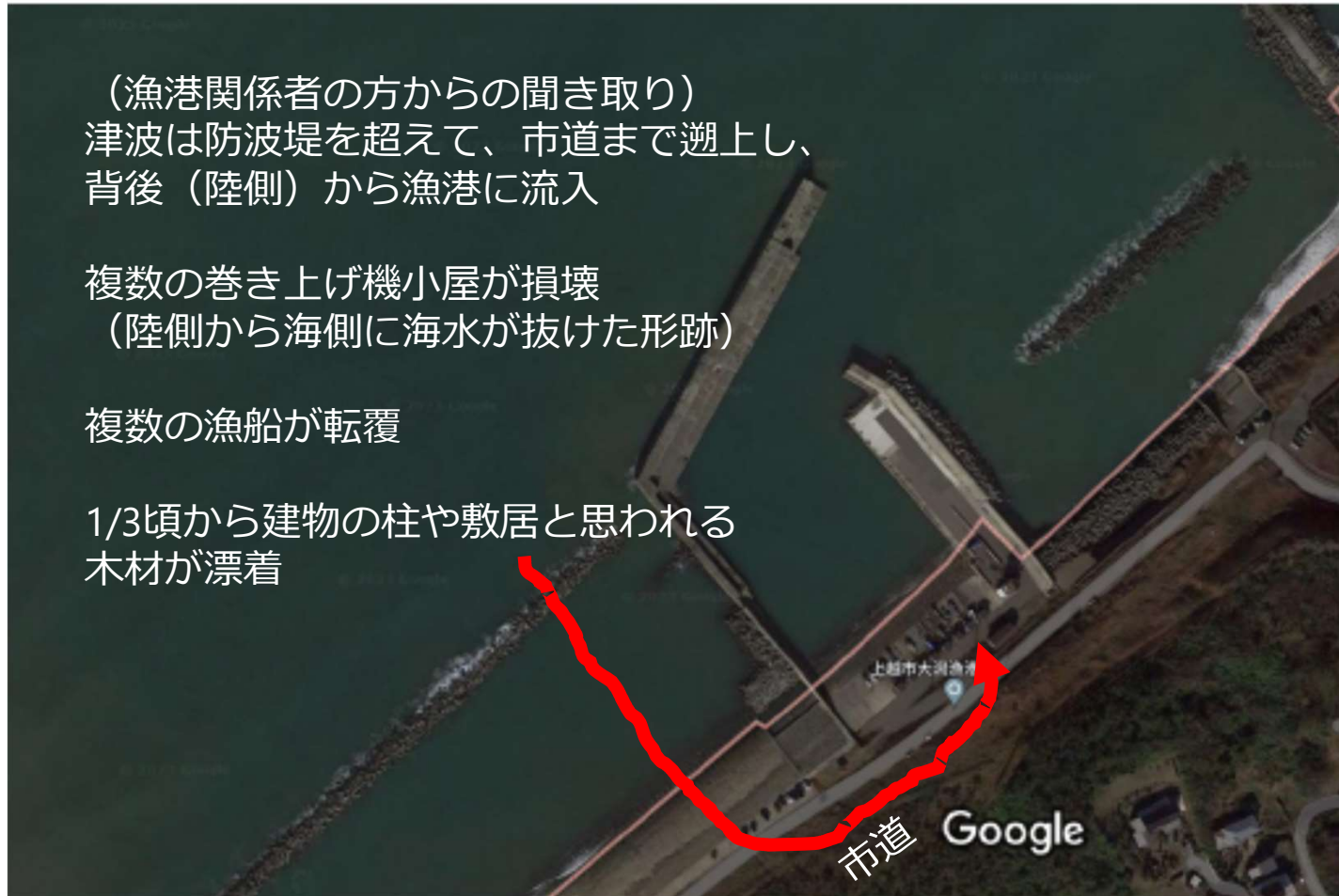
②大潟漁港被災調査(2024/1/11)

(漁港関係者の方からの聞き取り)
津波は防波堤を超えて、市道まで遡上し、
背後(陸側)から漁港に流入

複数の巻き上げ機小屋が損壊
(陸側から海側に海水が抜けた形跡)

複数の漁船が転覆

1/3頃から建物の柱や敷居と思われる
木材が漂着



②大潟漁港被災調査(2024/1/11)



大潟漁港付近の道路：標高5.5m
(国土地理院地図)

③大潟海岸被災調査(2024/1/11)



- ・消波ブロックが設置されていない漁船引上げ場では、汀線から20m程度陸側に、複数のブロックが散在している。
- ・長期間、水中で侵食されていると思われるブロックが複数打ち上げられている。
- ・現地住民の話から、これらの一部は今回の津波によって陸域に打ちあがったものと想像される。
- ・道路面付近に漂流物が確認され、津波痕跡の情報と符合する

③大潟海岸被災調査(2024/1/11)



付近の道路（海岸沿いの砂利道）：標高7.7m
（国土地理院地図）



付近の道路付近（引き上げ場天端）：標高5.5m
（国土地理院地図）

④直江津海水浴場被災調査(2024/1/11)



- ・ 砂浜に設置された商業用の小屋が津波により破壊された。
- ・ 被災時は、50cm程度の水位があったものと思われる。
- ・ プレハブ小屋の壁面に浸水痕跡を確認。その岸側に木の枝などが線状にたまっている場所があり、遡上エリアが推測された
- ・ 津波の被害は、前面の離岸堤の有無で差が出ている？（開口部の正面の被害が大きい）

④直江津海水浴場被災調査(2024/1/11)



建物背後に木の枝などが線状にたまっている状況



左写真撮影場所付近：標高3.7m
(国土地理院地図)